

## 第22回東日本電協定期委員会を開催する！

### メンテ見直し議論に集中を

国労東日本電気協議会は、一月三十日十三時より、新橋福祉会館において第二十二回の定期委員会を開催しました。役員、委員あわせて二十五人が参加し、岸副議長の司会で開会し、議長には東京・八王子地区本部選出の若月委員が就任し、職場の状況ということで組織状況から組織拡大にむけた取り組みや設備メンテナンス体制での業務区分のあいまいさ、昇進試験の合格者が少ないことや、組合員で最低職が十名もいることなど挨拶の中で報告がされました。最初に東日本本部松井書記長より、①中央委員会での不採用事件の解決に向けての議論がなされたことと



メンテナンスの改善」という合理化が提案された。昨年提案された車両メンテナンスの

ほぼ全面外注化も解明要求を提出している。本年は合理化の集中という状況になつていくが出向やエルダー問題とあわせ規制緩和の学習会も開催したい。また要求については職協や地方とすりあわせをしながら交渉にのぞむ③春闘の関係では一〇春闘で賃上げ要求額五千円を各会社に提出していくことを決定した。あわせて東日本は制度施策要求を一緒に出していく。すでに意見集約されているが、その中にはエルダーの改善や各種手当ての見直しなどが入っている。東日本としては皆さんと直接意見交換できる場を考えていきたいと挨拶されました。中澤議長からは①不採用事件の現状について②安全安定輸送の取り組みでは、昨年も輸送障害事故の多発と死亡傷害事故が多発した。施策の検証が重要で申9号を提出しているが、新たな合理化が提案されている③企業コンプライアンスも信濃川発電所の不正取水問題から大きくなっているが、職場のなかから点検摘発を④組織強化拡大については急務になっている。人間関係づくりや信頼される組織づくりを⑤第二十二回



職場交流会を仙台で予定している。成功にむけた取り組みを⑥設備メンテナンスの改善という新たな合理化が提案された。先月、工務協とも打ち合わせをした。限られた時間ではあるが解明要求の案を資料に入れてあるので今委員会で議論していただきたいとの挨拶をうけました。また来賓として東日本出向連テムズ代表の大宮の竹内さんより、昨年九月に総会を行い代表に選出されました。出向者の名簿もまだ整理されていない部分もあります。ますので協力を。また会社への要求書を上げているができていない現状です。待避遅延が多く発生していることや、テムズにおいても若手社員が増えてきているなかでの技術力問題など報告されました。引き続き経過、方針提起、決算報告、会計監査報告の提案を受け、その後、質疑応答の時間で各地方からの報告と分科会から報告を受けてきました。

### 各地方、分科の発言

【東京】新たなメンテナンスの提案の中身がわからない。コンプライアンス問題は不正取水以降も、ゲート操作ミスがあり、図面整理で超勤が多い。競合作業把握システムは打ち合わせが多すぎて大変。組織拡大にむけ若い人との



話し合いができて始めている。資格が必要な設備の調査を。踏切監視カメラが個人情報保護の違反という話がある。

【千葉】設備強化施策で信号のLED化の工事が出ているが、高圧に近い作業が発生、信号はき電停止作業はしていないので、共同作業というところで行われているが、支社は境界作業マニュアルに入れようとしている。もうひとつは、待避遅延の問題でT.C鳴動中は線路に入ってはいけないと言っているが、鳴り止まない現状が改良されていない、他の支社はどうなっているのか。

【秋田】き電停止作業は建築、土木、信号はCF操作。待避遅延は保線で二件、鳴りっぱなしもある。NEWS諸元と凶面が入っていない。現場と一致していないので新しい物まで老朽取替えになっている。競合システム研修も一部の人のみでわからない。若手社員で、現場がわからないことで障害処理ができない。技術力維持のため外注設備まで直轄で見たいほうがいいのではないか。

【盛岡】昨年九月にシルバーウィークの即応体制ということで、新幹線メセで3型勤務で対応しているが、急遽ということ、朝と夜の勤務に分けて対応し、また在来線のメセがはじめて入った。通勤できない人もいたが何のために入ったのか。0時10分からの勤務が多いが、ほかはどうなっているのか。



【仙台】昨年四月に定期委員会を開催。黒磯の感電事故で申し入れを出してきたが曖昧な回答だった。安全を考える会ということで、仙台と郡山で同時に開催した。七月に競合システムで団交。踏切無警報ということで、事情聴取や懲罰委員会というのがあったが、障害時の対応の初期対応のあり方が問題で、警察やサポートセンターでの対応を。一月二十六日に仙台でのトロッコ線張替えでの死亡事故の交渉をやったが、警察と労基署が入っている、調査中だというのが、連日の夜勤が問題、社員、P社社員の死亡事故ゼロといっているのに。T.C列警の勉強会を福島で工務と一緒にやった。

【水戸】メセは管理者含めて若手のみで、業務区分もわからず、外注設備も直轄でやる。技セとメセでの技術断層がある。支社より現場のほうが権限を持ち、団交での整理も守られない。T.Cは補助手段のはずがメインになっている、見張りをつけられない。単契で建費がらみがあるので問題がある。廃止してもらいたい。

【新潟】新たな合理化で人事交流をやっていくというがテムズはないだろう。テムズも若手を入れているが、電気科卒業を探しているが、ないので育っていない。JRから出向して、資格の講習の金や勤務の問題など労働条件が悪くなった。再度見直しをしなければならぬ。

【高崎】毎年電気関係の諸問題ということで、団交整理が守られていないものなど、再度交渉している。時間がかなり進んでいない。組織は数年変わらない、組織拡大にむけ、ゴルフ、野球を一緒にやっている。競合システムの不具合を出しても改善されない。申9号は時間をかけて出したもので、組合員の信用が問われるのでやるべき。勤務変更が多いのが問題

【長野】二十一年度下期効率化ということ、設備関係の事務センター化の提案がされている。庶務だけでなく、契約や資材もふくまれる。

信濃川発電所問題が影響していると思うが、飯山線全線が

長野支社だったが、支社境を千曲川と信濃川の分岐点でわかれているところに、四月一日から新潟支社に変更するといっている。地域一帯の関係といっているが、しかし、支社が変わるといことは勤務している人の転勤希望も問題になる。(各分科の報告は別途整理して報告します)



【東日本本部樋口執行委員の答弁】

法令遵守の問題では、信濃川発電所不正取水問題が起きたとき、エリア本部と東京地本で現地調査に向かい組合員の声をきくなどして申をたててきた。勤務変更の問題は、一旦指定した勤務はむやみに変更しないという労基署の判断もある中で、全社的に指導しているはず、まずは各地方機関の対応で。反合理化の視点から、申9号の扱いについて何人かから意見が出されたが、この問題は二年前の首都圏輸送障害が多発するなかで、国交省からのたびたびの警告が出される中、検証委員会でも議論され、交流会で議論されてきたという経過があり、今回の事実と整合性がない部分もある。皆さんの意見を執行部に伝えていきたい。監視カメラの扱いですが、いろいろ

な場所に入ってきているので、個人情報に抵触しているとして回収するとするなら、指導文書等の資料を上げてもらいたい。貨物の連続ベアなしなど厳しい現状は認識できているがストライキの扱いは中央の戦術委員会での決定となるのでここでの回答にはならない。との答弁がありました。

このような意見を受けて、中澤議長は、千葉の境界作業の問題は現在、千葉だけになっているので、業務部との連携を。盛岡のシルバークの扱いについてエリアにも伝えてあるが、きちつとした説明をさせる。テムズの労働条件の問題は出向連との関係で整理を。二月二十四日の業長職協議長会議で、電気として申9号の扱いを訴えていくとのべ、①職場交流会の意義の重要性について持ち回りの継続で②安全安定輸送について労働組合としての立場で追求していく③労働条件改善については新たな合理化の中で解明要求をだし、職場でも議論できる体制作りを④企業コンプライアンスについて会社に守らせ、自らも点検強化をしていく⑤組織強化拡大については職場の不平不満をとりあげ、信頼を得る中で緊急の課題であると五点について集約を行い、今



年度の方針、予算案を全体の拍手で確認しました。役員の改選においては、役員については、配電分科を除いて全員が再任となりました。

その後、今年交流会開催受け入れ地電協の仙台地電協千葉議長より、開催日程の報告があり、議長解任、閉会挨拶を受け、短時間の委員会となりましたが、最後に中澤議長の団結ガンバローで定期委員会を終えました。

## 二〇〇九年度電気協議会役員

議長 中澤 唯(神奈川)

副議長 北島利則(千葉)

副議長 高橋英樹(秋田)

副議長 岸 三男(高崎)

副議長 榎戸 輝(東京・貨物)

事務長 高橋 広(神奈川)

### 各分科長

強電分科長 後藤寿昭(八王子)

弱電分科長 佐藤寿喜(盛岡)

新幹線分科長 千葉 薫(仙台)

貨物分科長 木元敏彰(仙台)

事務分科長 小山秀夫(東京)

信号分科担当 大角 浩(八王子)

通信分科担当 平岡久試(八王子)

変電分科担当 長谷部隆幸(大宮)

配電分科担当 今野弘樹(千葉)

会計監査 梅沢達也(八王子)

岡部貴一(東京)